

校友会報

中央学院校友会本部

〒136-0071 江東区亀戸 7-65-12

中央学院大学中央高等学校

TEL (5836) 7 0 2 0

毎年1回発行

創立者 博士 高瀬順太郎先生 提唱
建学の精神 中央学院大学
校友会

研鑽を怠るな

常身を慎み反省を

奉仕と感謝の心を

深かに人に接し

誠實に謙虚に生きよ

校友会長、理事長就任のあいさつ



学校法人中央学院

理事長

中央学院校友会

会長

佐藤 昌信

校友会の皆様には益々ご健勝にて活躍のこととお喜び申し上げます。平成30年度の総会において、前寺嶋会長の跡を継ぎ、会長に就任に就任しました佐藤昌信でございます。校友会の副会長を務めて参りましたので、私なりの事は既にお分かりの事と存じます。役不足で不安いっぱい船出となりますが、いつもと変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特に運営方針といった大志はありませんが、前寺嶋会長が築き上げてきた相互扶助の精神を継承し、合わせて120周年の記念行事に向けた体制構築に向け邁進したいと考えております。

思えば、私が校友会に入ったきっかけは、東京都に勤務していた折に宝関先生から電話が入りました。約20万人と言われる職員数の中で、私を見つけてるのは只事では無く、多くの時間とたらい回しのご苦勞を考えると、直立不動で汗が頭から足の先

まで伝わる思いがありました。総務課の職員からは、いったい誰からの電話かと、注目いっぱいでした。

校友会に入ってから、酒井・荻野先輩の母校に対する強烈な感慨の思いを肌で感じながら行事推進に多少なりとも協力できたと思います。また、前津村専務理事との校友会報作成には、専門的な知識のない私に沢山のノウハウを伝授していただき、加えて100年史編纂にもご一緒することができました。多くの方々の温かいご支援のおかげで今日あることを深く感謝申し上げます。

さて、私の専門は、土木工学という技術屋です。戦後、大陸から引き揚げて来て以来、下町一帯が台風と浸水に見舞われながらも一家の大黒柱として重宝がられて育ちました。その思いを引きずりながら、中央商業を卒業し、日大の理工学部土木工学科を経て、今日でも、上下水道の技術士としてコンサルタント会社に努めています。二刀流は、なかなか大変ですが、皆様の温かいご支援を当てにして会長職を務めたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

さて、皆様には 急な出来事として、何事かとお驚の事と思いますが、9月26日付けを持って学校法人の

理事長に就任いたしました。前任の進藤理事長が健康上の理由で退任した跡を継いで、急遽就任いたしました。身の整理のつかぬままの状況ではありますが、校友会の会員の皆様のご支援の下で、いささかでも学校法人の発展に努力を傾けたいと決意を新たにしております。

法人の役員、大学の学長、高校の校長のお話をお聞きし、現状をつぶさに見ながら役員をはじめ皆様のご意見を大切に考え、現状認識を共有することが何より大事であると認識しております。中央高校のみの事だけでなく、今後は学校法人の三校が寄り添い全体の発展に向け努めていく所存です。

中央学院大学は、箱根駅伝では伝統校として活躍し、学院高校の野球部は甲子園出場を果たしました。一方、亀戸の中央高校はレスリングを始め他のスポーツにも優秀な学生が育ちつつあります。

我が中央学院はそれぞれが一体となり、お互いに誇りを持って切磋琢磨しながら、世界の中央学院を目指したいと考えています。

最後に中央学院の皆様の一層のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。あいさつとさせていただきます。

平成30年度
定時評議員会
及び校友会 懇親会

平成30年6月22日（金）、亀戸アンフェリシオンにおいて、定時評議員会（総会）及び懇親会が開催されました。総会に先立ち、寺嶋会長の退任に伴い新会長の選出議題が出され、新しく佐藤副会長が会長に選任されました。

総会は、佐藤議長の下で平成29年度の会務報告、梅津会計理事による決算報告及び中島監事代理による監査報告、そして谷本専務理事による平成30年度の事業計画並びに梅津会計理事による予算案が提案・審議されました。出席者からの質疑応答を経て全会一致で原案が可決されました。

土田校長の学校現況の後、その場で、懇親会の席に移り、親しく和やかな雰囲気の中で意見交換をしました。



新会長を囲んで和やかに進みました

平成30年度 事業計画
定時評議員会において、平成30年度の事業計画・会務報告・決算・予算・監告並びに校友会役員等が決定されました。

- 一、評議員の活性化をはかる
- 二、会費の増収につとめる
- 三、会報の年一回制作を実行する
- 四、在校生、学校との連絡を強化する
- 五、中央学院学友会校友会連合協議会と連絡を密にする
- 六、委員会活動を活性化させる
- 七、ホームページの充実をはかる

平成30年 合同新春懇親会

平成30年2月2日（金）、恒例の四者合同新春懇親会が、亀戸アンフェリシオンで開催されました。

今回の幹事が学校側ということで、土田校長に挨拶を頂き、順次各四者の代表者の挨拶がありました。続いて、校友会相談役の佐藤義則様による乾杯の音頭で盛大にスタートしました。



土田校長の挨拶



合同新春懇親会には多くの関係者が集まりました



佐藤相談役の乾杯の音頭



永代会長・PTA 会長挨拶



寺嶋会長挨拶

平成30年度
校友会役員名簿

役職	卒期氏名	55	59	60	61	62	66	65	54	62	73	78	79	65	79	81	83	84	90	96	55	42	50	51	51	54	55	名譽会長
会長	佐藤昌信																											
副会長	谷本弘郎																											
専務理事	中島伸一																											
会計理事	梅津修																											
常任理事	秋山正夫																											
理事	樋口やい子																											
	中野淳一																											
	高島有美子																											
	大橋治久																											
	金子由信																											
	青木廣則																											
	上森健司																											
	大野真人																											
	藤掛晃浩																											
	設楽治樹																											
	柳徳徳																											
監事	三谷昌治																											
相談役	村尾幸夫																											
	山崎正明																											
	吉野賢治																											
	佐藤義則																											
	進藤輝彦																											
	寺嶋昭雄																											

*監事の三谷氏は逝去されました

平成29年度
理事会(総会議案の審議)

4月18日(金)、中央高校会議室で開催されました。定時評議員会及び懇親会開催に向けての審議・検討が行われました。付帯事項として、評議委員会の役員出席が思わしくない現況であることから、会員の増強について各自意見をまとめる事となりました。

特には、若手会員の出席が思わしくない状況について、改善策を皆で検討したい旨の発言がありました。

平成30年(春・夏)
学院高校の甲子園観戦記

中央学院高校の野球部は100回記念特別枠により、千葉県代表に選ばれて春夏の代表校として甲子園に出場しました。

校友会としては、時間的な制約もあり口頭伝達で皆様にお伝えし、応援できる有志を集めて甲子園に行ってきました。



甲子園入口付近での記念撮影



一杯になった、学院高校応援席

校友会理事会(歴史探訪)
「たばこ塩の歴史館」

10月20日(土)、錦糸町駅北口に10時20分集合してから、横十軒川の親水公園を北に向かい15分程にある「たばこ塩の博物館」に行きました。



スカイツリー



外国から来た、珍しいキセルの色いろ



塩の結晶(オブジェ)



懐かしいタバコ屋さん

一階の映像室で、それぞれの古い歴史を観ながら、解説者の話に耳を傾けました。展示場は見学しやすく整理されていて、煙草の外国からの輸入ルートなど古い時代での道具の使われ方や工夫の仕方などを学びました。また、塩は、外国の岩塩採集と日本古来の製法が紹介されていました。

その後は、スカイツリーの近くにある理事会会場に向かいました。理事会は佐藤会長の挨拶の後、土田校長から学校の近況についての報告があり、文化祭の活動報告や台風による体育祭の中止という状況を理解し、野球部やレスリング部の活躍ぶりに満足しました。

また、中央祭の取り組みに関して、特に校友会役員の参加要請がありました。懇親会は、和やかにして、多少の緊張感の中で進められました。



土田校長の学校近況報告を聴く、神妙な新人二人



甲子園での応援報告



議題に入る前に、理事会の会場での記念撮影

会務報告

*平成29年

4月3日 学院大入学式
4月8日 中央学院高校入学式
4月11日 中央高校入学式
4月19日 連合協議会正副会長会議
4月21日 決算監査
4月21日 校友会理事会
5月28日 連合協議会総会・親睦会
5月29日 〃
6月23日 定時評議員会(総会)
9月23日 理事会(両国街歩き)
10月8日 中央祭(文化祭)
12月18日 理事会(納会)

*平成30年

1月2日 箱根駅伝(往路)
1月3日 箱根駅伝(復路)
1月3日 駅伝慰労会
2月2日 四者合同新年会
3月3日 中央高校卒業式
3月3日 〃 謝恩会
3月10日 中央学院高卒業式
3月20日 中央学院大学学位記授与式
3月26日 甲子園応援(大阪)

平成29年度 収 支 決 算 書

自平成29年 4月 1日
至平成30年 3月31日

(単位:円)

収 入 の 部	決算	予算	差異	支 出 の 部	決算	予算	差異
会 費 収 入	1,711,500	2,150,000	△438,500	評 議 員 会 費	329,991	300,000	29,991
				会 報 等 印 刷 通 信 費	429,865	1,000,000	△570,135
寄 付 金 収 入	12,000	10,000	2,000	同 期 会 補 助	10,000	100,000	△90,000
				同 好 会 補 助	0	40,000	△40,000
				事 務 費	36,000	100,000	△64,000
雑 収 入	13,316	0	13,316	慶 弔 費	0	100,000	△100,000
				ス ポ ー ツ 奨 励 金	50,000	100,000	△50,000
				中央学院連合協議会々費	100,000	100,000	0
				委 員 会 活 動 費	0	100,000	△100,000
				新 入 生 卒 業 生 記 念 品	337,370	50,000	287,370
				雑 費	81,882	50,000	31,882
				甲 子 園 寄 付 金	100,000	200,000	△100,000
経常収入計	1,736,816	2,160,000	△423,184	経常支出計	1,475,108	2,240,000	△764,892
基 本 財 産 運 用 収 入	38,610	27,000	11,610	基 本 財 産 組 入 支 出	680,000	2,000,000	△1,320,000
前 年 度 繰 越 金	3,571,029	824,601	0	次 年 度 繰 越 金	3,191,347	1,068,029	2,123,318
計	5,346,455	3,011,601	△411,574	計	5,346,455	5,308,029	38,426

※他に基本財産 12,000,000 円(ミズホ社債 1,000万円 (0.305%) 5年大阪府公募債 200万円 (0.0865%)

会費収入につきましては、平成28年度新入生から入会金10,000円、卒業時に会費として10,000円を徴収することになりました。

平成30年度 資 金 収 支 予 算 書

自平成30年 4月 1日
至平成31年 3月31日

(単位:円)

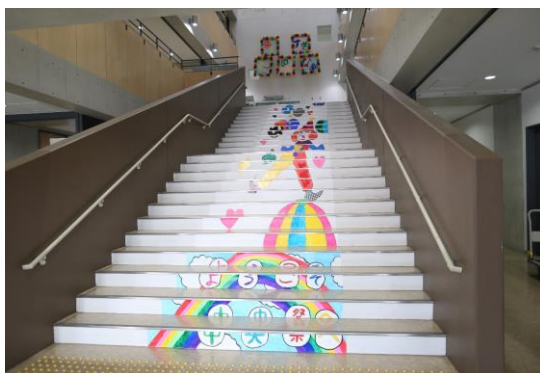
収 入 の 部	予算	前年度予算	差異	支 出 の 部	予算	前年度予算	差異
前 年 度 繰 越 金	3,191,347	3,571,029	△379,682	評 議 員 会 費	300,000	300,000	0
会 費 収 入	1,500,000	2,150,000	△650,000	会 報 等 印 刷 通 信 費	450,000	1,000,000	△550,000
				同 期 会 補 助	30,000	100,000	△70,000
				同 好 会 補 助	30,000	40,000	△10,000
寄 付 金 収 入	10,000	10,000	0	事 務 費	60,000	100,000	△40,000
				慶 弔 費	50,000	100,000	△50,000
雑 収 入	0	0	0	ス ポ ー ツ 奨 励 金	60,000	100,000	△40,000
				委 員 会 活 動 費	10,000	100,000	△90,000
				中央学院連合協議会々費	100,000	100,000	0
基 本 財 産 運 用 収 入	38,000	27,000	11,000	新 入 生 ・ 卒 業 生 記 念 品	400,000	500,000	△100,000
				雑 費	50,000	50,000	0
				予 備 費	100,000	200,000	△100,000
				基 本 財 産 組 入 支 出	0	2,000,000	△2,000,000
計	4,739,347	5,758,029	△1,018,682	次 年 度 繰 越 金	3,099,347	1,068,029	2,031,318
				計	4,739,347	5,758,029	△1,018,682

※同期会補助—同期会(クラス会でないもの)の年間補助1回10,000円。

※同好会補助—年間補助1回20,000円。

中央祭（沼田拓馬）

今年の中央祭は、「楽しんでごめんな祭」をスローガンにあげ、例年とは一味違う仕上げにしました。今年のスローガンの思いは、来場していただくお客様に、準備から当日まで、実行委員の仲間と助け合い、頑張ってきたことを精一杯発揮し、中央祭に来ていただいた方に、心の奥深くまで残るような文化祭にしたいという思いが込められています。



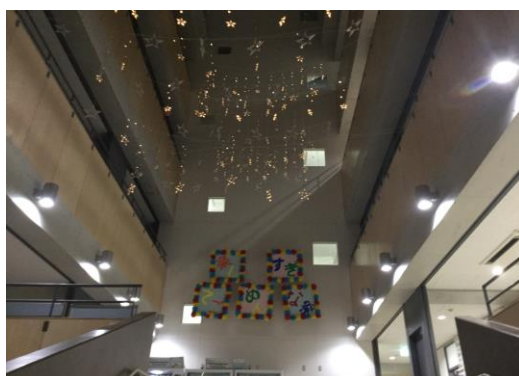
各クラスの模様しものを階段にシールを張り付ける

実行委員の活動は、4月から始まり、スローガン、校内装飾についての話し合いからスタートしました。着々と話し合いが進み、夏休みに入る前から準備を始め、夏休み中に準備、作業をする班もあれば、夏休み終了後に作業を始める班もあり、各班が一丸となり中央祭に向け校

内装飾の制作を進めました。



中央階段正面にカラフルな飾りが



階段アート（中央階段）にも装飾を行いました。

今年の中央祭を一味違う物にしようと中央祭実行委員内で話し合いました。昨年までは、各クラスの催し物は、板に張り付けていましたが、今年からは各クラスの催し物を階段に張り付ける事の出来るシールに全て変え、中央階段などに装飾を施しました。階段アートの他にも、今年からは窓ガラスに絵を書くことのできるペンを用いて、例年のクラ

ス装飾よりもワンランク上のクラス装飾を作りました。



3年生女子のダンス。体育祭で発表したかった！



軽音楽部の発表です

去年の中央祭では、祭りをモチーフとしていた装飾にしていたため、吹き抜けに提灯をぶら下げていましたが、今年は、ライトの点滅する星形の物を数多くぶら下げ、校内を一層明るい雰囲気

するようにしました。中央祭当日は、実行委員が中心となり、受付などの仕事をしました。各クラスも協力し無事中央祭を成功させることができました。多数の来場ありがとうございました。



吹奏楽部の演奏です



3年生有志 日本男児のエアバンドです



中央学院大学

中央高等学校

○第一学年研修旅行

B組 荻野 美心

入学してから最初に迎える大きな行事、研修旅行。私たち一年生は期待や不安、様々な思いを胸に抱きながら迎えることとなりました。

三日間共通してほとんどの生徒が不安だった友だちづくり。中には話すことが苦手な人、人見知りの人もいたことだと思えます。しかし、どんな生徒も自己紹介はとても一生懸命にできていました。もちろん表情や話し方、声のトーンは人それぞれであり、期待を抱いている人、不安を抱いている人、様々な人がいました。

そのような中、私たちは三日間でたくさん学び、得ることができました。飯盒炊爨やチームビルディングでは協調性を、建学の精神や校歌の練習では粘り強さ、集中力を身につけることができました。クラスやクラスを超えた仲間たちと様々なことを経験し、不安だった一日目の事などはすっかり忘れ、三日目には私たちの顔には笑顔が広がっていました。

きつと三日間の研修旅行で私たちは知識や学力よりも大切なことを身につけたのだと思います。仲間と協力して一つのことを成し遂げることににより、助け合いの精神を得て、友情を育むこともできました。そして何よりも「誠実に謙虚に生きよ」という言葉の意味を三日間で経験したすべてのことを通して全力で学べたのではないかと思います。

今回の研修旅行で学んだすべてのことは今後の高校生活や社会人になっても大切になっていきます。日々、建学の精神を心掛け、美徳を積みみたいと思うことができた研修旅行でした。



☆ 第二学年修学旅行

2年D組

西浦太賀

去年の学園祭で2年生の修学旅行の展示を見たとき、自分たちも来年はこゝへ行くのだということを再認識させられた。

次にそれを感じたのは、パスポートの申請に行った交通会館の中の旅行用品専門店で購入物をした時であった。普段目にしないような商品たちを見るうちに「改めて海外に行くのだ」と感じた。そして旅の準備をしながら、英語で書かれた名札、外国のお金、色々なことが初めてであった。

いよいよ出発の6月9日。成田空港へ向かうリムジンバスの中は外国人で溢れ、海外へ旅立つことを実感する。そして、空港に到着し、生まれて初めて乗る飛行機の旅が、8時間近くもかかる異国の地であることに緊張を感じた。いよいよ出発の時を迎え、緊張を感じつつ、飛行機に乗り込む。最初に思ったことは、新幹線よりも少し狭い気がしたという事だった。離陸と着陸の時耳栓をしていてもとても耳が痛く「自分はあまり海外旅行には向いていないのかも」と感じたりした。

ハワイに着いて最初に思ったのは、とても空が綺麗だということ、いたるところに英語で書かれた看板や表札を目にし、ハワイに自分がいることを実感した。

最初に訪れたパールハーバーでの戦艦ミズーリ見学では、僕にとって平和とは何か、戦争をするという事はどういう事なのか考えさせられる体験だった。「平和になるというのはなかなか難しいことではあるけれど、少しでも近づけたらいいな」と思った。皆もなんとなく悲しい表情に見えた。そのような時でもやはり空は綺麗だった。

平和学習を終えると、いよいよホームステイである。ホームステイ先の人々はとても優しい方々で、我々の拙い英語に

もしつかり理解を示していただきとても有難かった。沢山焼いてくれたパンケーキの味も忘れられない。

海やマクドナルドにも連れて行ってもらい、ポテトやコーラの大きさは、日本よりはるかに大きい気がしたが、サイズがSだと聞きとても驚いた。

いろいろな事がありなんとも内容の濃い修学旅行だった。何もかもが自分には新鮮な体験で、とても有意義で素晴らしいかった。楽しすぎてボヤけてよく思い出せないシーンもある。でも、いつもハワイの空は綺麗だった。



いつもハワイの空は綺麗だった

☆ 体育祭

今年は、台風の発生と日本への上陸が例年になく多く、そのために体育祭が予備日を含めて、残念ながら雨天中止になりました。

☆ 球技大会

球技大会実行委員長 新井 瞬

今年の球技大会は、5月30日に葛飾総合スポーツセンターで、競技種目は男女バレーボール・男女バドミントン、男子卓球と昨年と同様の種目で行いました。



球技大会 バレーボール開会式



クラスで一致団結！

当日を迎えるまでは、クラスの代表の実行委員や生徒会の役員とで何度も実行委員会を開き話し合いました。話し合いで出たことの中で、会場内の違うフロアで行っている種目の応援に行くことや、空き時間に音楽を流すという新しい試みもしました。

球技大会当日、は例年になく白熱した試合展開が多く、どのクラスもみんなと協力し合い優勝目指し一生懸命に競技、応援する姿を見て感動しました。球技大会は勝つことも大事ですが、競技を行うことでクラスが一致団結することが何より大切だと感じました。

今後は、今年の反省・要望をもとに、今年以上に素晴らしい球技大会にしてほしいと思います。

☆部活の紹介

○男子バスケットボール部の活動

キャプテン 新井 瞬

部員数は、3年生4名、2年生6名、1年生1名の二名で活動していました。人数は少ないが、卒業した一つ上の先輩達を超えることを目標に練習に取り組みました。先輩たちから学んだプレイを意識し、部員全員で声を掛け合いプレイの質を向上させていきました。また、顧問の先生のアドバイスにより、試合でも最後まで諦めずに最善を尽くすことができました。

また、自分たちを強くしてくれたのは、強豪校との練習試合でした。夏と冬にはウィンターカップ出場経験もある西武

文理高校に行き、埼玉、栃木、静岡、神奈川、東京などから集まった強豪校と一日中練習試合を行いました。

ポロボロになりましたが、上手い選手のプレイを体感でき、自分の目標になり、精神的にも成長できたと思います。

3年生になる春休みに、宇都宮北高校で行った練習試合でも、栃木県のベスト8やベスト16に入る学校と試合ができ、遠征後の学校の練習で、更に自分のプレイを磨き、強くなりたいという気持ちになりました。



部員数は少ないですが 頑張っています

バスケットボール部の活動で先輩後輩の関係や仲間の大切さなどたくさんのかを生まれました。先生や先輩方にいろいろな部分で支えられ、教えていただきました。公式戦でなかなか勝つことは

できませんでしたが、良い経験ができた。充実した高校生活を送ることができました。

○男子バレーボール部

荒川 直人

私達男子バレーボール部は、小山先生、村田先生、中村先生の指導のもと、日々練習に励んでいます。部員は、3年生7人、2年生4人、1年生7人の計十八人です。練習は、火曜を除く放課後、土曜日は午前練習や練習試合を行っています。合宿は、四泊五日で錦城学園と合同で行っています。

三年間の集大成、最後の夏は波乱万丈であり、記憶にも記録にも残る結果となりました。進路や怪我の影響もあり、合宿に3年生が一人しか参加できず、試合への懸念材料となっていました。案の定、三つの大会の初戦、私学大会は一回戦で敗退しました。その結果から、なりふり構わず練習に打ち込む意気がより一層高まり、全日本一次予選では二回戦突破し、三年間で初の三回戦に進出することができました。最後の試合である、第六支部大会は、リーグ戦形式となっていて、善戦するも一勝二敗という結果に終わりました。

得失点差により二位という結果でしたが悔しい思いが強く残ると同時に、三年間、時にやかましく思うほど共に過ごしてきた仲間への感謝がこみ上げてきました。

この三年間の経験はこれから先、社会に出た時に非常に役立つと思います。部が活動するにあたり、支えてくださった先生方に感謝し、これからの後輩に受けつ

いびいて欲しいと思います。



宿のお父さんお母さん3年間ありがとうございました



アタック練習の様子です

○陸上競技部

部長 3年 中澤 達彦

校友会の皆さま、こんにちは。私たち陸上競技部は3年生8名、2年生1名、1年生4名の計13名で活動しています。私たち陸上競技部は校内には走る場所がなく、近くにも陸上競技場がないため、練習環境はあまり恵まれていません。日頃は近くの公園で練習をしています。試合に出場することも練習の一部という考えのもと、トラックスリーゼンの間は高体連の競技会に限らず、様々な地域の競技会にできる限り出場し、試合での実戦経験を積みながら競技力向上に努めています。

実は、私たち3年生が入学した時、上級生に部員がいなかったため、私は1年生にして部長を務めることになりました。中学時代に陸上競技の経験がなかった私は右も左もわからないような状況の中で、自分自身の練習に取り組み姿勢だけでなく、部員をまとめていくことにも苦労しました。それでも同級生の仲間からの温かい声掛けや先生からの励ましを受け、競技会でも堂々とした自分の走りができるようになり、部長としても部をまとめることができました。今では後輩たちを迎え入れ、先輩後輩の壁を作ることなく、楽しく活動をしています。

私たち3年生は7月の大会を最後に引退しましたが、後輩たちには練習を通して部員としての大切なことを伝えてきたので、これからの後輩たちの活躍に期待しています。

そして、最後になりますが、校友会の皆さまには、これからも温かいご支援ご協力をお願いいたします。

○軽音楽部

軽音楽部元部長の三年B組片岡碧斗です。軽音楽部での約二年半の活動を振り返ると、とても充実していてあつという間に過ぎたように感じました。

楽器が弾けるようになった時の嬉しさ、バンドメンバーと曲を合わせる楽しさ、文化祭ライブで今までの成果を発揮できた時の達成感は言葉では言い表せないほどのものでした。部活動を通して先輩や後輩との信頼関係を築くこともできました。しかしその反面、楽器の技術面や人間関係には個人差があり、その差を考慮したうえでバンド活動はそう簡単なものではありませんでした。バンドが突如解散の危機に陥ったり、顧問が変わって部活動の方針が変わったり、思い通りにいかないことも多々ありました。でも、文化祭で全てを出し切った今では軽音楽部に入学して良かったと思っていますし、何より自分の好きな音楽を通じて最高の仲間と巡り合えたことが嬉しいです。顧問の先生方にも感謝しています。

音楽というのは個性的に、且つインパクトと透明感を調和させて人々の感情を動かします。今の軽音楽部員には、更に上を目指して欲しいです。人々を楽し



高体連第2支部大会

○関東大会に出場して

レスリング部顧問 岩崎太郎

6月2日から6月3日まで、千葉県佐倉市民体育館で行われた第64回関東高等学校レスリング大会に、中村宗達君(2年)が出場しました。

グレコローマンスタイル55Kg級に出場した中村君は、1回戦で自由ヶ丘学園高校(東京都)の選手に敗れてしまいました。その選手が決勝まで勝ち進んだため敗者復活戦に臨むことになりました。敗者復活1回戦は日本体育大学柏高校(千葉県)の選手と対戦するも残念ながら敗退となりました。



ライブ後 みんなで

ませるだけでなく、自分も全力で楽しんで、演奏することの本当の素晴らしさを知って引退して欲しいです。二年半、本当に楽しかったです。ありがとうございました。



高校レスリング大会に出場しました。

私は生徒会と全校生徒の距離を縮め、より生徒の意見や要望を反映しやすい環境にしたいという思いのもと、昨年度から生徒会役員として活動してきました。そして今年度からは、多くの人達に信任していただき生徒会長になったことに嬉しさを感じると同時に、大変身の引き締まる思いでいます。

実際にどうしたら自分の思う学校にできるだろうかと真剣に考える機会が増え、ついプレッシャーを感じて自信を無くすこともあります。そんな時にはよく今まで学校のために誠心誠意尽くし、中央学院大学中央高校の歴史を築き上げてきた諸先輩方の努力を思い浮かべ、力を頂いています。

私たちの代だけで学校を大きく変えることは難しいかもしれません。しかし、歴代の先輩方の思いをしつかり引き継ぎ、私たちも歴史の一部としてよりよい学校生活の実現に向け日々できることをこつこつと行っていきたいと思っています。

中央学院高校

「中央学院高校の近況」

教頭 中野 敏之

平成30年度は新入生325名を迎え、総数1,007名でスタートしました。教職員は生徒と共に本校の特色を最大限に活かす学校作りに日々努力を重ねています。

また、今年の1年生にタブレット端末の活用させる取り組みや全校生徒対象

に正課後や長期休業中の講習、模擬試験の事前・事後学習会、検定対策講座などを行っています。その効果が表れてきたのか、本校で取り組んでいる検定資格取得は、引き続き10種11検定を実施していて、平成29年度は総受検者数982名、2級以上の合格者は87名という結果でした。

平成29年度の進路状況は、11年連続の国公立大学複数合格（埼玉大学・都留文科大学・信州大学・愛媛大学など）、中央学院大学への進学者数は37名（合格実数46）、その他大学への進学者数は251名、短期大学への進学者数は9名となり大学短大への進学率は79.0%を達成しました。生徒達は明確な目的意識をより確かなものにしていくために学習や部活動に真剣に取り組んでいます。



2学期に入り、学院祭（来場者数約1,700名）や体育祭、校技大会（剣道・弓道）など学校行事を通して生徒一人ひとりがお互いに相手を認め合い、尊重し合い、微笑ましい雰囲気が校内に満ちています。本校は創立50年に向かっていま



中央学院の応援席は学生、OB、関係者で満席になりました

す。この50周年はゴールではなく遠くを見据え、確実に歩みを進めていく未来へとつながっていると実感しています。最後に平成30年度の主な部活動の結果を報告します。

・弓道部：平成30年度関東高等学校弓道大会 出場

・野球部：第100回全国高等学校野球選手権記念大会

・千葉県大会（西千葉大会）優勝 甲子園出場

・秋季千葉県高等学校野球大会 優勝 第71回秋季関東地区高

○生徒会
生徒会長 2年A組 本間ひまり
校友会の皆さま、ごきげんよう。このたび、生徒会長になりました本間ひまりです。よろしく願いたします。

中村君は中学まで柔道に取り組み、高校からレスリングを始めた選手です。東京都の高校にはレスリング経験者が多く在籍しているため、高校からレスリングを始める選手にとっては厳しい状況にあります。そのなかで2年生ながら関東大会に出場した実績は大きく評価することが出来ます。この経験を生かし、来年の関東大会では上位入賞できるようさらに努力をして欲しいと思います。最後に、今回の関東大会出場にあたり、校友会からは支援を頂きありがとうございました。今後も、関東大会だけでなくインターハイや国体に出場することを目標に頑張りたいと思います。

- ・校野球大会出場（山梨） 出場
- ・書道部…第11回全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会出場（愛媛県伊予三島運動公園体育館）
- ・全国高校総合文化祭 出場
- ・サッカー部…JFA・全日本U18フットサル選手権大会
- ・千葉県大会優勝、関東大会準優勝、全国大会出場
- ・その他関東大会出場部活動…陸上競技部、剣道部、弓道部、バレーボール部 男女

中央学院大学

○中央学院大学の近況

◆大塚製薬株式会社と連携協定を締結

平成30年4月17日（火）、中央学院大学は大塚製薬株式会社（東京都千代田区／社長：樋口達夫氏）と「中央学院大学と大塚製薬株式会社との連携と協力に関する包括協定」を締結しました。既に災害時備蓄品の提供などについてご協力いただいておりますが、今後は本学運動部へのスポーツ栄養等の情報提供なども行われます。

また、ゼミでのマーケティング学習、大学祭（あびこ祭）やオープンカレッジへの情報・商品提供など、様々な事柄についてご協力いただく予定です。

今回の協定締結を機に、地域社会の発展に今まで以上に貢献するとともに、本学学生・教職員の健康づくりを推進して参ります。



大塚製薬との連携と協力に関する包括協定を締結

（左から本学マスコットちゅーいんこ、佐藤 英明前学長、大塚製薬株式会社 東京支店長 渡壁 勝己様）

◆柏市長、柏市教育長が現代教養学部の授業で講演

平成30年4月26日（木）、現代教養学部佐藤寛先生「現代教養入門」の授業にて、秋山浩保柏市長をゲストスピーカーに迎え講義が行われました。

秋山市長は、「自身が民間会社のトップと行政のトップを経験した珍しい経歴をお持ちのため、両方の視点から「会社と市役所の違い」を大変わかりやすく語られました。さらに、「勉強も大事だけれど、アルバイト等を通して、『仕事を通して感謝される経験』また『考えて工夫すると仕事は楽しいという経験』を、大学生のうちに一回でもして欲しい」と、

市長としてではなく、ひとりの社会人・大人として話された言葉が、学生たちの印象に残った様子でした。



秋山浩保柏市長による講義が開かれました

（上左…佐藤寛現代教養学部長 上右…秋山浩保柏市長）

また、10月4日（木）には柏市教育長の河寫貞氏を迎え、「教育と柏市の教育行政」をテーマに講義が行われ、大学を卒業すれば必ず就職できるという時代ではなく、人工知能の発達で「無くなる職業」がある。ただ、人と接する仕事、人の反応を見ながら対応する仕事は無くならないと語られ、これまで自分が受けてきた教育と現在の小中学生が受けている教育との比較をしつつ、改めて「教育が未来の社会を作っていく」ということを認識をした様子でした。

（河寫貞柏市教育長）

◆本学留学生がチーバくん大使に任命

6月12日（火）、千葉県庁でのチーバくん大使任命式にて、本学の留学生で商学部1年のウィーラシンハ ヴィダナラダスチラ アシヤン ウィーラシンハさん（以下、スッチさん、スリランカ出身）が「チーバくん大使」に任命されました。チーバくん大使は、個人のブログやFacebook等を通じて千葉県の魅力（観光、食、日常生活など）を、それぞれの母国語で発信する活動を行います。



チーバくん大使



河寫貞柏市教育長による講義が開かれました

★「第52回あびこ祭」開催

10月27日(土)・28日(日)「第52回あびこ祭(大学祭)」を開催。当日は天候にも恵まれ、5,793名の方に「ご来場いただきました」。



小中学生の保護者を含め大勢の来訪者で一杯になりました。

27日は、「手賀沼ジュン」ライブでは本人作詞・作曲のあびこ祭テーマソング『巻き起こせ！CGU旋風』を皆で熱唱。その後、吹奏楽部、書道部、フォークソング部、チャリディング部の発表があり、「Bず軍団」によるモノマネや「尼神インター」と「西村ヒロチョ」がお笑いライブで会場を盛り上げてくれました。

28日は、中央学院高校の書道部・吹奏楽部・軽音楽部の他、市内の各種団体によるステージパフォーマンスの後、最後を飾ってくれたのは「酸欠少女さユリ」。

パワフルな声量と熱いメッセージで会場を沸かせました。



ちゅーいんこを含め地域のマスコットが全員集合！



沢山の出店が並び呼び声に熱気が伝わります。

ステージ以外でも各学部教員による企画として商学部「マネジメントゲー

ム」、法学部「CGU大捜査線」、現代教養学部「てつがくカフェ」を開催し、大学の学びを体験していただきました。

箱根駅伝の取り組み 今後の予定

駅伝コーチ 尾上 岳史

「箱根駅伝」

「校友会の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素から私ども駅伝部にご支援、ご声援をいただき、厚く御礼申し上げます。

11月に入り我孫子も日に日に寒さが増し、年間の最大目標である『箱根駅伝』が近づいてきたことを感じる季節となりました。本学の箱根駅伝出場も17年連続20回目となり、ここ6年間では5度のシード権獲得と、箱根駅伝の常連校の一つに上げられるチームとなりました。

さて、今年のチームは、前回大会で総合10位となったメンバーが7名残っており、それにプラスして下級生の中から新戦力が続々と出てきており、選手層の厚みが増し、上位争いを窺える戦力が整ってきました。

まず、10月8日に行われた『出雲駅伝』では、3年生1人、2年生2人、1年生3人で、更に三大駅伝経験者は1名というフレッシュなメンバーで臨みましたが、過去2番目に良い総合6位の結果を残すことができ、チームの底上げが順調に進んでいることを実感することができました。特に、1区を走った3年生の

川村悠登(中央学院高校出身)は、これまでは三大駅伝にエントリーすらされていませんでしたが、初めて任された1区を区間4位の結果でしっかりと重責を果たし、今後の活躍を大いに期待させる走りをしてくれました。

しかし、11月4日に行われた『全日本大学駅伝』では、出雲駅伝で活躍した川村や、過去に三大駅伝を走っている4年生の市山、樋口、3年生の横川、高砂、藤田など主力選手の多くを故障で欠くこととなり、出だしこそ1区を任された2年生の高橋が区間6位と上々の滑り出しをしたものの、それ以降はブルブルと順位を下げ、最後まで大きく流れを変えることができずに、総合14位という結果に終わってしまいました。

この2大会を終えて、新戦力の芽は出てきているものの、やはり主力選手が走らないことには上位で戦うことが難しい現状を突き付けられました。チームとして、まずは主力選手の故障からの復帰が急務であり、12月10日のチームエントリで、どれだけ主力選手をエントリーできるかが上位争いをするうえで鍵となります。まずは、限りなくベストメンバーを揃えられるようにしたいと思っています。そして、新春の『箱根駅伝』では、青山学院大、東海大、東洋大、駒澤大の4強と呼ばれる大学による上位争いに食い込み、フラッシュイエロー旋風を巻き起こせるようにしたいと思っています。

末筆にはなりませんが、校友会の皆様方の益々のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。お正月の『箱根駅伝』では、部員一丸となって挑みますので、

ご声援の程、宜しくお願い申し上げます。



平成29年 校友会のつぎ

今回は、51期の同窓会が開催されましたので、ご紹介します。
卒業生の皆様には、同様の会合を開く場合に校友会から補助金が出ますのでご連絡ください。

51期会

定例の51期会を11月29日(木)に銀座のBRBで実施しました。
三上洋一とハワイアンビレッジの演奏、特別ゲストには高木ブー氏が出演して頂き楽しいひと時を過ごし、来年の再会を約し解散しました。



中央高等学校51期会

2018年11月29日(木)開催
総 会 場 B R B

平成31年の合同新春懇親会

卒業生が学校行事に参加できる機会です。日頃、付き合いのある同窓生をお誘いして、お申し込み下さい。

記

日時・平成31年2月1日(金)

18時受付

18時30分開会

会場・アンフエリシオン

江東区亀戸1の23の1

03・5608・5381

会費・六〇〇〇円

申込・FAX 03・5836・7025

氏名・住所・卒業期・連絡先を記入下さい。

「中央高校の教育整備費に係る」

ご支援のお願い」

平成28年度から、本校の教育環境実現を図ると共に運動系・文化系クラブの活動を継続的にサポートし教育強化を進めて行くことを目的として始められました。日本の経済状況が先の見えない厳しいところがありますが、母校発展のためにご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご賛同の方は、あらかじめ学校に連絡頂ければ振込用紙を本人宛に帆送付いたしますので活用ください。

「校友会費の説明並びに 納入のお願い」

校友会費については、昭和五十八年十月二十日で会則が改定され、現在は次のようになっています。

年会費 三,〇〇〇円

特別会費 二〇,〇〇〇円

昭和五十年十月の改定で終身会費二〇,〇〇〇円を決定いたしました。が、以降これを特別会費とさせていただきます。勿論過去において終身会費として二万円を納入して下さった方は、そのまま終身会員の取扱いをさせていただくのは当然であります。が、諸事高騰の折柄お願いとして年会費も御払込願えば幸いです。今後は年会費で通常経費をまかない、特別会費分は基金として積立て、将来学校のお役に立てたいと考えています。

現在会費の未納が多く、基本財産を取り崩している状態です。

どうか皆様

基本財産として特別会費

一金 二万円

亦是運営費として年会費

一金 参千円

を左記宛て納入下さいますようお願い致します。

尚、同封の郵便振込票(振込手数料無し)でお振込み下さる場合は、通信欄にコード番号をご記入下さい。

郵便局

東京 〇〇一三〇一五一五一一九

三井住友銀行 日本橋東支店

〇三四一七一五〇〇六九

宛名 中央学院校友会

本部住所 〒一三六〇〇七

江東区亀戸七六五一一二

TEL 〇三ー五八三六七二〇